

## ○1人のミスを全員で解決しよう！

「ここを決めれば逆転！」というフリースローを外してしまった。  
9回2アウト満塁、素晴らしいピッチングで凡打に抑えた！と思っ  
たのも束の間、ショートがタイムリーエラー...

すると、我々はずいつい「何やってんだ！」と怒鳴り、チームメイトの失敗を責めたくなるかもしれません。でも、失敗を責めても、チームの雰囲気は悪くなるばかり。「あいつのせいで負けた」と、人のせいにしては、成長が止まってしまう。そのような時、考えたいこと。それは、「もし、自分にも責任があったとしたら何ができただろう？」ということです。

あるバレーボールのチームで、「エースアタッカーが致命的なミスをして、それで負けてしまった。じゃあ、そのことについて、セッターやレシーバーの責任は何パーセントあるかな？」と、質問しました。

すると、多くの選手は「いや、僕には責任はない」「エースのミスでしょ」「0%です」と、口を揃えます。このような考えで、成長するチームが作れるのでしょうか？

「もし、自分にも責任があったとしたら、何ができただろう？」「自分にできることは何があったかな？」そう考えることができる選手は、チームメイトのミスを自分の力にすることができます。失敗を責めるのではなく、失敗から学ぶことができます。

立場を変えて考えてみることで、また違うアイデアや改善策が生まれます。部活動に限らず、クラスや学校というチームをより良くするために、1人の責任で終わらせず、チームの力にしましょう。

## ○第2回挨拶運動

10月27日(火)から30日(金)まで、挨拶運動を実施します。そこで、「あいさつ4つのポイント」を紹介します。意識するだけで、グッと変わります。是非、心掛けてください！

あ

### 明るい笑顔でアイコンタクト

不機嫌な顔で挨拶を交わしても、相手に不快な印象を与えてしまいます。笑顔で元気よく、相手の目を見ながら明るい声で挨拶することを心掛けましょう。

い

### 「いつも変わらない」をモットーに

安定したあいさつは、自分の心の安定にもつながります。また、相手にも安心感、信頼感を与え、良い人間関係を築く第一歩につながります。

さ

### 「先に」を心掛ける！

相手に自分から先に挨拶しましょう。先に挨拶した方が、その後の会話もしやすくなり、好印象を与えます。積極的に挨拶して、自分をアピールしましょう。

つ

### 「続けること」で、さらにコミュニケーション向上！

挨拶の後に、「お元気ですか？」「調子はどうですか？」など、一言続けることで、相手への思いやりが伝わり、スムーズな会話にもつながります。

“一生懸命だと知恵が出る。

中途半端だと愚痴が出る。

いい加減だと言いつけが出る”

by 武田 信玄

